

地域とのふれあいの中で経営安定を目指す阪本観光りんご園プラン

事業実施主体名	阪本観光りんご園 阪本和俊		住 所	北栄町
プラン認定日	平成17年4月15日	プラン期間	平成17年～平成19年	

1 プラン内容

(1) 概要

交流・学習の場等として地域に貢献するとともに、網掛け施設を導入して経営安定を図る。

(2) 取り組みポイント

- 〔○地場直売所、学校給食への食材供給により地産地消の取組を進める〕
- 〔○消費者の嗜好に合った品種を導入。〕

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H17	りんご網掛け施設 (4,505 m ²)	5,700	1,900	950
H18	りんご網掛け施設(1,862 m ²)	2,880	960	480
合 計		8,580	2,860	1,430

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状
労働力(雇用)	—	—
経営内容・規模	—	—

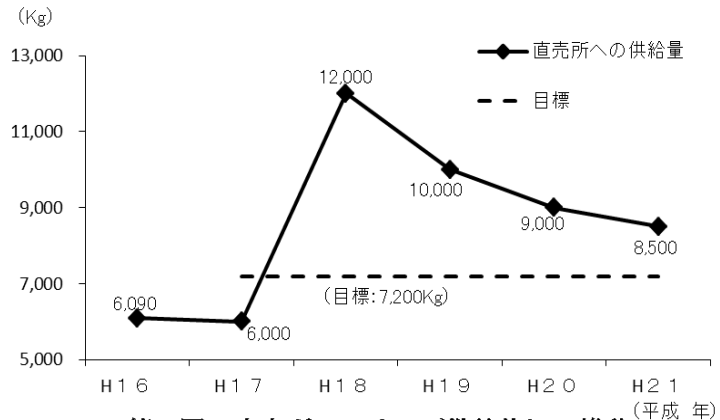
(2) 成果

プラン目標に対する実績

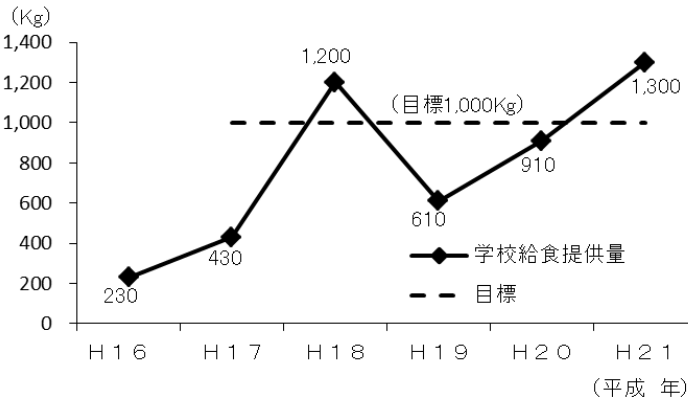
(1) 地産地消の取り組み

・地場直売所への出荷

お台場いちば、フルテリア、フルテリア西郷、はわい夢マート、アグリポート琴浦、湯の関ふれあいハウス、道の駅犬伏、アロハ大市場、小鴨朝市、東宝ストア、ジャコム大栄店等に期間中、定期的に出荷し平成18年は12,000 kg、平成19年は10,000 kg、平成20年は9,000 kg、平成21年は8,500 kgを出荷し、平成18年以降目標の7,200 kgを上回り、地場の直売所での地産地消に貢献した(第一図)。



第一図 直売所へのリンゴ供給状況の推移



第二図 学校給食へのリンゴ提供状況の推移

・学校給食へのリンゴ提供

大栄小学校、大栄中学校、由良・大蔵・栄・大谷・中央・東保育所へ給食用として、平成18年は1,200 kg、平成19年は610 kg、平成20年には910 kg、平成21年には1,300 kgを出荷し(第二図)、目標の1,000 kgに及ばない年(平成19、20年)があるものの、チャレンジプラン申請以前の、平成16年の230 kgを上回り、学校での地産地消教育に貢献した。

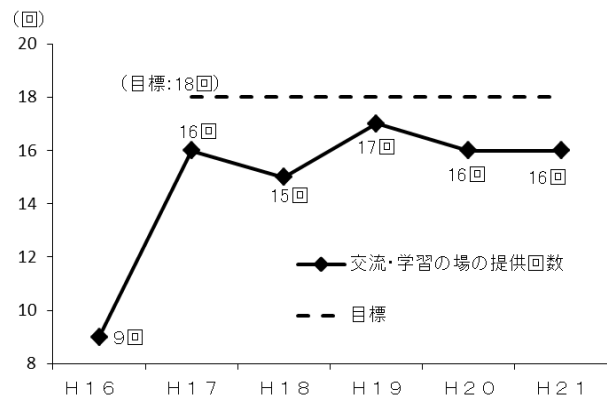
・地元加工グループへの加工用リンゴの提供

北栄町内を中心に、平成18年はのべ8団体に、平成19年から21年はのべ10団体にジャム、焼き肉のタレ用の加工用リンゴを提供した。

(2) 交流・学習の場の提供

地元保育園児をリンゴ狩りに招待した他、中学生職場体験(わくわく大栄)の生徒、その他、小学生・養護学校生・親子会・老人福祉施設・スポーツグループ等を、平成18年に15回、平成19年に17回、平成20年に16回、平成21年に16回、リンゴ狩りに受け入れた。

いずれの年も目標の18回/年には及ばなかったが、チャレンジプラン申請以前、平成16年の9回を上回り、地元の学校教育や福祉活動に貢献した(第三図)。



第三図 交流・学習の場の提供状況の推移

(3) 地元企業・施設との連携

北栄味覚めぐりの会場提供、レークサイド大栄でランドゴルフの景品としてリンゴを提供、TCB

の番組制作に協力、町内授産所のふれあい市に出店、JA まつり（青年部バザー出店）へ出荷し、地元企業や施設と連携して、地域の活性化に貢献した。

（４）網掛け施設の導入

平成17年に約45a、平成18年に約20aの網掛け施設を導入し、毎年100%利用し、風害、雹害、鳥害、虫害を防ぎ、安定生産を行っている。

第1表 支援事業により導入した施設の利用実績

種類、施設名	導入年度	利用予定 (1)	利用実績 (1)	予定に劣する 実績の割合 (%)	備 考 (2)
リンゴ網掛け施設	17	4,505 m ²	4,505 m ²	100	
リンゴ網掛け施設	18	1,923 m ²	1,923 m ²	100	

（５）品種更新

消費者の嗜好に合ったリンゴ品種を品種更新により順次導入し、また老木となり、収量が減ってきたリンゴ樹を若木に更新し、安定的な観光果樹園経営を行っている。

[中部総合事務所農林局]